

令和3年9月熊野市議会定例会

熊野市長市政報告

令和3年9月6日

令和3年9月熊野市議会定例会市政報告

おはようございます。本日、令和3年9月熊野市議会定例会を招集させていただきましたところ、議員の皆さまには、お忙しいなか出席をいただき、ありがとうございます。

それでは定例会の開会にあたり、市民生活や経済などに大きな影響を与えている新型コロナウイルス感染症について、その現状とワクチン接種や支援策の進捗状況、今後の新たな支援策等について、ご説明いたします。

直近の感染症の情勢ですが、7月ごろから、より感染力が強く重症化しやすいとされるデルタ株により、全国的に感染が爆発的に拡大しております。8月下旬には、三重県でも新規感染者数が過去最多を記録するなど、徹底した感染防止対策が必要な状況が続いております。三重県に緊急事態宣言が9月12日まで発令されており、文化交流センターや山崎運動公園など市の関連施設も利用休止等を行っております。

ワクチン接種の状況ですが、医療関係者の皆様の協力のもと、本市では接種が県内の中でも比較的早く進み、8月31日時点で2回目接種を完了した人は1万1,513人、全人口中71.1%となっております。

市といたしましては、市民の皆さんの「日常の生活」を取り戻す

ため、より多くの皆さん、特に接種率の低い若い年代の方々に接種をしていただきたいと考えております。しかし、今後の県からのワクチン供給については、接種率の低い市町が優先されることから、接種率の高い本市には新たなワクチン供給は多くは見込めません。市で持っているワクチンの在庫は少なくなっており、今後接種を希望してもすぐに予約が取れない可能性があります。未接種の方で接種を希望される方は熊野市新型コロナワクチン相談・予約コールセンターまでお早めにご連絡いただきたいと思います。

ワクチン接種を終えた方でも、感染するリスクはゼロにはなりません。市民の皆さんにおかれましては、これまで繰り返しお願いしてきたマスクの適正な着用、身体距離の確保、定期的な換気、手洗いをを行うなど、一人ひとりができる基本的な感染症対策の更なる徹底をお願いします。なお、マスクについてはできる限り飛沫透過率がより低い不織布マスクの着用をお願いいたします。また、三重県からは生活の維持に必要な場合を除き、日中を含め、外出や移動の自粛を要請されています。緊急事態宣言中はこれに加えて特に20時以降については、外出の自粛をお願いします。感染は誰にでも起こり得るもので、感染された方やそのご家族などへの差別や偏見につながる行為、誹謗中傷は絶対に行わないこと、根拠が不明な情報や噂に惑わされることのない冷静な対応も併せてお願いします。

市内の経済への影響については、市による8月の状況についての

聞き取り調査では、業績が大きく悪化または非常に大きく悪化と回答した割合は、全体の21%となっています。前回5月の調査時は26%でしたので、5月に比べて少し改善が見られるものの、市内の経済状況は依然として厳しいと考えられます。また、7月の集客施設への影響は、一昨年7月と比較しますと、入込客数や売上が減少しております。

これまで議決いただいた支援策のうち、生活者・事業者応援プレミアム商品券事業については、発行総額約3億3千万円で販売を終了し、これまでに換金された実績は8月31日現在約2億3千万円で、換金率は約7割となっております。

本市においては、市民の皆さんへのワクチン接種は順調に進んできたものの、市内経済の状況は依然として厳しく、更なる支援が必要と考えております。ウィズコロナを前提として「日常の生活」を取り戻し、「経済の回復・再活性化」を図るため、新たな支援策として、市民一人当たり1万5千円のレインボー商品券を支給する「生活者・事業者応援商品券支給事業」、絆メニューの補助の内容や期間の拡充と、いこらい市当日に使用できるプレミアム付き商品券を販売する事業について、今定例会に補正予算案を提出させていただきました。

以上、新型コロナウイルス感染症の現状とワクチン接種や支援策の進捗状況、今後の新たな支援策等についてご報告いたしました。

なお、今定例会におきましては、先ほど触れました補正予算案など議案14件、報告4件、諮問1件、合わせて19の案件を提出いたしております。

よろしく、ご審議を賜りますようお願い申し上げ、開会にあたりましての市政報告といたします。